

緑の担い手

緑の雇用研修と 奥深い林業

有限会社 石田木材
岡村 修

林業という職業につき、現在まで僅か4年半余りですが、今回、「緑の雇用」研修に参加させていただき、林業の奥深さを知ることができました。

私は、これまでに林業とは無縁の仕事をしていたので、初めて山に入った時は、そのスケールの大きさに圧倒されたことを今でも覚えています。

山での植林から下刈りの仕方、チェーンソーの目立てから実際に木を伐採し枝を払い、グラップルを使って集材し造材する。そして、その材をフォワーダで土場まで搬出するといった一連の作業についての知識と技術について、集合研修と現場での仕事を通して勉強させていただくことができました。

とはいえ、まだまだ道半ばで分か

らないことが沢山あります。例えば伐採作業ひとつをとっても、同じ条件の育ち方をしている立木はななく、大きく傾いた木もあれば、枯れの入ったものや生えている場所の違いによって、ツルの残し方や切り方を変えたり、ウインチやチルホールを使って倒したり等、より多くの経験を積んでいかなければならないと思っています。

私たちは、日々ケガなどの危険と隣り合わせの中、林業という仕事をしていきますが、この研修を通して幅広い視野を持ち、自分の中で技術を磨きながら更なる成長に繋げ、今後の仕事に役立てていけるようにしていきたいと思えます。

